

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属	福祉部障害福祉課障害福祉係				
問合せ先	03	-	5803	-	1211

6年度調査

1 補助金の名称等

補 助 金 の 名 称	心のバリアフリー推進事業(共生のための文京地域支援フォーラム事業補助金)									
根 拠 規 定 等	文京区共生のための文京地域支援フォーラム事業補助金交付要綱									
創 設 年 月	平成	30	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	6年	終了予定年月		
見 直 し 年 月	令和	3	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	4年			
見 直 し の 内 容										
予 算 科 目	款	項		目		大事業		中事業		計画事業番号
	5 民生費	3 心身障害者福祉費		1 心身障害者福祉事業費		25 障害者差別解消推進経費		2 心のバリアフリー推進事業		93
補 助 金 の 種 別	☒ 奨励的補助 ☐ 施設運営補助 ☐ 扶助的補助 ☐ 投資的補助 ☐ 利子補給									

2 補助金の概要

補助目的	広く区民に対し、障害及び障害者・児に対する理解を深め、共生社会の実現を図ることを目的として、共生のための文京地域支援フォーラム実行委員会が実施する障害者との共生を図る事業に要する費用の一部を補助する。					
補助事業等の内容	実行委員会が実施する事業に要する費用の一部を補助					
補助対象経費の内容	(1) 講師等への謝礼 (2) 広報に要する経費 (3) 施設使用料に要する経費 (4) その他区長が必要があると認める経費					
補助事業者等	☐ 区民 ☐ 地域活動団体 ☐ NPO(特定非営利活動団体) ☐ 事業者 ☐ その他 〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕					
補助金の算出	☐ 定率〔補助率〕 ☐ 定額〔補助額〕 ☐ 補助単価〔補助単価 単位〕 ☒ その他 〔その他の場合は具体的に記入〕 補助対象経費のうち、実費換算とする。 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕					
公募の状況						
実績報告書時における 使途の確認方法	☐ 領収書 ☐ 契約書 ☒ 決算書 ☒ 成果物 ☐ その他〔 〕					
補助・単独の状況	☐ 区単独 ☒ 補助(区上乗せ無し) ☐ 補助(区上乗せ有)	負担割合	区 67/100	国 22/100	都 11/100	補助対象者
		上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(予算)
交付(見込み)件数	1	1	1	1
決算(予算)額	300	300	300	300
国庫支出金	96	125	125	66
都支出金	48	63	63	33
その他	0	0	0	0
一般財源	156	112	112	201
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	-	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	-	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	令和5年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインで地域支援フォーラムを実施することにより、88名の参加者数となり、区における障害理解の促進に繋げることができた。
課題	フォーラムのテーマに合わせた開催方法、周知広報活動を工夫して取り組む必要がある。
今後の方向性	令和6年度は、障害のある方の就労をテーマに開催を予定しており、今後も区における障害理解の促進に繋がるよう、地域支援フォーラムを実施していく。